

○社会教育関係団体

- ・ 置戸町芸術文化鑑賞協会の活動再開を支援
- ・ 置戸町老人クラブ連合会創立50周年記念事業を支援

○放課後児童クラブ

- ・ 児童用机及び椅子の更新
- ・ 地域コーディネーターを継続配置

○食のまちづくり推進事業

「食」を通じた町民の豊かな暮らしづくりに向け中央公民館での公民館サロン及び料理講習、また、各地区公民館での料理講習など栄養士連絡会と連携を図り、地産地消をはじめとする食育の普及に努めます。農畜産物の加工・特産品開発に向け、関係機関・団体などとともに試作研究を進め商品化に注力します。

○郷土資料・文化財関係

- ・ 各団体が行う埋蔵文化財発掘調査への協力
- ・ 中学生を対象に遺跡発掘体験学習を実施
- ・ 札幌学院大学の提案「小さな博物館のある街づくり構想」の検討



首都大学東京の発掘作業
(昨年8月、秋田地区)

○施設改修

- ・ 中央公民館周辺のインターロッキング洗浄と一部改修
- ・ 秋田地区住民センター研修室カーペット一部取替
- ・ 新境野公民館の外構工事と旧公民館の解体撤去

社会体育

- ・ ファミリースポーツセンタートレーニングルームの定期的な健康運動指導士の配置を継続実施
- ・ ミニバスケットゴールを購入
- ・ 子どもの体力づくり推進のため小学校低学年対象の「おけとわんぱくクラブ」の継続実施
- ・ プロスポーツ選手を招いての少年少女スポーツ教室の開催、スポーツ少年団活動への支援
- ・ 健康体操教室など各種健康教室を継続実施
- ・ パークゴルフ競技人口の拡大を図るため親子が楽しんでプレーできる環境づくり

森林工芸館

新たな指導体制となり4名の塾生が独立をしました。作り手養成塾は、2名の2年生に新たに1名の塾生を受け入れ、3名体制となります。

流通販売部門を担う一般社団法人は5年目を迎えます。地域ブランドとしてのオケクラフトの確立に向けた更なる取り組みを推進します。

「すくすくギフト事業」は引き続き実施します。

○どま工房 秋岡コレクション

今年度は、特に「ふるさと教育」を通じて、秋岡コレクションの基礎知識や手仕事文化について、子どもたちをはじめ町民の皆さまへの情報発信提供に努めます。

図書館

小学生推薦図書「おけとこどものほんだな」の利用促進を図ります。ファーストブックプレゼント事業を継続し、幼年期の親子向けの推薦図書「おけと親子のほんだな」の選定を進めます。

「郷土資料デジタル化事業」は、2020年4月からの閲覧提供に向け、置戸タイムス、郷土資料館展示資料、写真・映像資料のデジタル化作業を進めます。

施設改修は、直射日光による図書資料の劣化防止と来館者の心地よい居場所を確保のため施設北面採光窓へ遮光フィルム貼付工事を実施します。



展示資料を1点ずつ
撮影(昨年8月)

学校給食

成長期にある児童生徒の健康増進を図るため、栄養豊かな給食を提供します。地域の自然や食文化などの理解を深めるため栄養教諭と教職員が連携し、食に関する正しい知識と感謝の心を育み、望ましい食習慣が身に付くよう、積極的に食育に取り組みます。また、地元食材を積極的に取り入れ、季節や地域の文化・伝統を身近に感じることが出来る特色ある給食の提供に努めます。これらを実現していくための食材費確保として、今年度より給食費を値上げいたします。今後も充実した給食の提供に努めていきますので、保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。